

令和8年度
沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科
(修士課程)
学生募集要項

◆ 9月試験 (比較芸術学専攻のみ)

- ◇障がい有する等の志願者の配慮の申し出期限
令和7年6月27日(金)
- ◇出願期間
令和7年7月28日(月)～8月4日(月)
※8月4日郵送発信局消印有効
- ◇試験日程
令和7年9月6日(土)
※予備日:9月7日(日)
- ◇合格発表
令和7年9月16日(火) 午前10:00
※本学ウェブサイト
- ◇入学手続
令和7年9月17日(水)～9月24日(水)

◆ 2月試験 (全専攻)

- ◇障がい有する等の志願者の配慮の申し出期限
令和7年10月30日(木)
- ◇出願期間
令和7年12月8日(月)～12月15日(月)
※12月15日郵送発信局消印有効
※比較芸術学専攻については、出願書類のうち、卒業論文のみの提出期間は1月8日(木)～
1月14日(水) 郵送発信局消印有効
- ◇試験日程
令和8年1月31日(土)～2月1日(日)
- ◇合格発表
令和8年2月6日(金) 午前10:00
※本学ウェブサイト
- ◇入学手続
令和8年2月12日(木)～2月18日(水)

令和7年5月



〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4
電話 098-882-5080
<https://www.okigei.ac.jp>

目 次

I	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー	1
II	募集人員	1
III	出願資格	1
IV	選抜方法・配点	2
V	試験日程（9月試験：比較芸術学専攻のみ）	3
VI	試験日程（2月試験：全専攻）	4
VII	不正行為	7
VIII	出願手続き	7
IX	入試説明会・事前相談	9
X	合格発表	10
XI	入学手続き	10
XII	過去の試験問題の公表	11
XIII	入試成績の情報提供	11
XIV	大学院案内	
	1. 大学院研究室担当一覧	12
	2. 本研究科で取得できる免許状及び資格	13
	3. 長期履修制度	13
	4. 学生教育研究災害傷害保険等への加入	13
◆	研究計画書等提出書類	14

沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科 (修士課程)

I アドミSSION・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

■ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

造形芸術研究科では、教育の理念・目的に沿った高度で専門的な教育課程で成果をあげ、修士作品又は修士論文の審査及び口述試験を経て、所定の単位を取得した学生に対し、修士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

- 1 幅広い視野にたち専門分野における高度な知識と技術を身につけている。
- 2 専門分野における高度な研究能力と論理的思考力を身につけている。
- 3 専門分野における知識・技術を応用し、社会に発信する能力を身につけている。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

造形芸術研究科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得するために、高度で専門的な授業科目を開設し、体系的に編成・実施します。また、修士作品の制作又は修士論文作成のための研究指導を複数教員により組織的にを行います。

- 1 研究実施計画に沿った指導計画に基づく研究指導により、専門分野における高度な技術と理論を身につけ、専門的な課題についての研究能力と問題解決能力を培う。
- 2 関連科目の履修により幅広い視野にたち深く学識を涵養する。
- 3 自律的な研究を進めるため、造形芸術における高度な技術及び知識を修得する。
- 4 専門的知識や技術を社会で応用し、新たな芸術創造と活動に貢献し得る卓越した能力を培う。

■アドミSSION・ポリシー（入学者受入れの方針）

造形芸術研究科では、本研究科の教育理念に基づき次のような点を入学者選抜の判定の主眼としています。

- 1 幅広い教養と造形芸術分野の専門的素養を備えているか。
- 2 専門分野の研究を行うに必要な基礎的能力をそなえているか。
- 3 現代社会において新しい芸術創造の営みを発信していく強い目的意識、意欲を備えているか。

II 募集人員

専攻	専修	募集人員
生活造形専攻	工芸専修 デザイン専修	9
環境造形専攻	絵画専修 彫刻専修	6
比較芸術学専攻	比較芸術学専修	3 (社会人を含む)

入学者が募集人員に満たない場合、二次募集を行う。二次募集の詳細については本学ウェブサイトにて知らせる。(https://www.okigei.ac.jp)

III 出願資格

1. 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者又は令和8年3月31日までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学

- 校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省令告示第 5 号）
 - (9) 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - (10) 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、22 歳に達したものの

※注意事項

出願資格（9）（10）の適用を受けようとする者、長期履修制度を利用する予定のある者は、次の期日までに教務学生課にメール（kyomu@okigei.ac.jp）で申し出ること。

○ 9 月試験 令和 7 年 6 月 27 日（金）まで ○ 2 月試験 令和 7 年 10 月 30 日（木）まで

また、障がい等を有する等の理由により受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、本学ウェブサイト「入試案内」に掲示している「受験上の配慮申請書」に必要事項を記入し、医師の診断書等を添付のうえ、教務学生課へ郵送すること（上記期限必着）。

なお、必要に応じて面談等を行う。本学がこれまでに実施した入学試験における配慮事例については、本学ウェブサイト「入試案内」を参照すること。

2. 社会人選抜（比較芸術学専攻）

一般選抜の出願資格に該当し、かつ本研究科入学時において、大学卒業後 2 年以上経過した者（ただし、外国人志願者は筆答試験Ⅰを免除しない。）

3. 外国人志願者

一般選抜の出願資格に該当し、かつ学習に足る日本語の理解と表現能力を有する者

IV 選抜方法・配点

1. 選抜方法

入学者の選抜にあたっては実技（含提出作品）、提出論文、研究計画書、筆答試験、面接等の選抜試験及び成績証明書、入学志願票等の各資料を総合して判定する。

2. 遠隔入試（9 月試験）

9 月試験にあたっては遠隔入試を導入する。遠隔入試とは、受験者が来校せずに受験する入試を指し、郵送、オンライン、メール、電話等を利用した試験である。遠隔入試実施の詳細については、「V 試験日程（9 月試験：比較芸術学専攻のみ）」を参照すること。

また、提出物は定められた日時までに送付すること。口述試験はオンラインシステム（Zoom 等）で実施する。

3. 配点

(1) 9 月試験

▼比較芸術学専攻

専修	筆答試験Ⅰ	筆答試験Ⅱ	研究計画書・口述試験	計
比較芸術学専修	200 点	200 点	200 点	600 点

(2) 2月試験

▼生活造形専攻

専修	作品	筆答試験	実技	面接	計
工芸専修	300 点	300 点	200 点	200 点	1,000 点
デザイン専修	300 点	200 点	300 点	200 点	1,000 点

▼環境造形専攻

専修	作品	口述試験	面接	計
絵画専修	600 点	200 点	200 点	1,000 点

専修	作品	実技試験	面接	計
彫刻専修	500 点	400 点	100 点	1,000 点

▼比較芸術学専攻

専修	筆答試験	卒業論文	口述試験	計
比較芸術学専修	200 点	400 点	200 点	800 点

V 試験日程（9月試験：比較芸術学専攻のみ）

▼比較芸術学専修

日程	7月28日(月)～8月4日(月)	8月22日(金)～8月29日(金)	9月6日(土)
試験内容	研究計画書提出	筆答試験Ⅰ（語学） 筆答試験Ⅱ（専門科目）	口述試験
試験時間	郵送（消印有効）	郵送（消印有効）	10：00～12：00
受験上の注意	■研究計画書提出 所定の様式を使用し、その他の出願書類に同封し郵送すること。 ■筆答試験Ⅰ（語学） (1) 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、日本語小論文のうち1科目を選択すること。 (2) 外国人志願者は「日本語小論文」を選択すること。 (3) 「日本語小論文」は外国人志願者のみ選択可能。 (4) 社会人選抜の受験者は「筆答試験Ⅰ（語学）」を免除する。（ただし、外国人志願者は筆答試験Ⅰを免除しない。） ■筆答試験Ⅱ（専門科目） 美学・芸術学、美術史、琉球文学または日本文学のうち1科目を選択すること。 ■筆答試験共通 ＊試験問題及び解答用紙は送付するとともに、令和7年8月22日午前9：00に本学ウェブサイトにて志願者のみに限定公開する。 ＊閲覧のための限定公開URL及びパスワードは入学志願票に記載されたメールアドレスあて通知する。 ＊迷惑メール対策等を設定している場合は、本学から送信されたメールが受信できないことがあるため、「@okigei.ac.jp」を受信設定しておくこと。		

	* 所定の様式を使用し、受験するすべての問題用紙・解答用紙を同封し、送付した郵便書類にて提出すること。また締切期日までに、メール添付にて下記アドレスに解答用紙の画像データを送付すること。 ※締切：令和7年8月29日（消印有効） ※提出先：芸術学専攻学科室（geijutsu@okigei.ac.jp） ■口述試験 (1) 本学所定のオンラインシステム（Zoom等）を使用し、オンライン対面形式で行う。通信環境が悪い場合は電話にて行う。 (2) オンライン面接のテスト日（8月下旬頃）を設ける。 (3) 口述試験の時間、方法、注意事項、オンライン面接テストについては受験者にメールで通知する。指定された時間の10分前にはオンライン接続できるよう待機すること。 (4) 9月7日（日）は予備日とする。
送付先	■研究計画書、問題用紙、解答用紙 〒903-8602 那覇市首里当蔵町1-4 沖縄県立芸術大学 比較芸術学専攻 比較芸術学専修 問い合わせ先：芸術学学科室 TEL:098-882-5070 ※学科室への電話が通じない場合：教務学生課（Tel098-882-5080）

VI 試験日程（2月試験：全専攻）

▼工芸専修

日程	1月31日（土）			2月1日（日）
試験内容 試験時間	作品提出 9:00～9:45	筆答試験（小論文） 10:00～12:30	実技試験 13:30～16:30	面接 10:00～
受験上の注意	■集合時間 1月31日（土） 9:00 2月1日（日） 各受験者に指定した面接時刻の20分前 ■作品提出 提出作品の搬入・搬出について、運送業者を利用するなど特別処置を必要とする受験者は、事前に学科室に相談すること。 (1) 作品2点（2年以内に制作したものに限る。） (2) ポートフォリオ ■実技試験 ※研究室別に問題を課す 染 図案作成に必要な用具持参 織 織物デザインと織物設計に必要な用具持参 陶磁器 用具等は本学で用意 漆工 素描用具・色鉛筆（12色以上）持参 ■作品搬出 各自の面接が終了次第、作品搬出 ■その他 試験が終了するまでは学外外出禁止のため、必ず弁当を持参すること。			
試験会場 連絡先	首里崎山キャンパス 工芸棟1F（那覇市首里崎山町4-212-1） 染織学科室 TEL:098-894-6255			

▼デザイン専修

日程	1月31日（土）			2月1日（日）
試験内容 試験時間	作品提出 9:00～9:45	筆答試験（小論文） 10:00～12:00	実技試験 13:00～17:00	面接 10:00～
受験上の注意	■集合時間 1月31日（土） 8:30 ※遅刻限度時間 10:30 2月1日（日） 各受験者に指定した面接時刻の20分前 ■作品提出 (1) 作品2点（2年以内に制作したものに限る。卒業制作・論文等含む。） (2) ポートフォリオ ■実技試験 ※研究室別に問題を課す 製図用具一式・彩色用具一式持参。用紙は本学で用意。 ■作品搬出 各自の面接が終了次第、作品搬出 ■その他 試験が終了するまでは学外外出禁止のため、必ず弁当を持参すること。			
試験会場 連絡先	首里崎山キャンパス デザイン中央棟2F（那覇市首里崎山町4-212-1） デザイン学科室 TEL:098-882-5072			

▼絵画専修

日程	1月31日（土）		2月1日（日）
試験内容 試験時間	作品等提出 9:00～12:00	口述試験 13:00～	面接 9:00～
受験上の注意	■集合時間 1月31日（土） 9:00 2月1日（日） 8:30 ※遅刻限度時間 9:30 ■作品等提出 作品は本人立会いのうえ当日指定された場所に搬入すること。 提出作品の搬入・搬出について、運送業者を利用するなど特別処置を必要とする受験者は、事前に学科室に相談すること。 (1) 作品（1年以内に制作したものに限る。） ○油画（a, b, cのいずれか） a 平面作品 2点 50号以上 b 版画作品 10点以内（このうち、額装は3～4点） c インスタレーション作品 2点 ※cは、それぞれに関するプランニング、マケット及び完成作品を示す作品記録をまとめたポートフォリオ1冊（5分以内の動画記録の追加も可） ○日本画 作品2点 50号以上 (2) 作品資料（ポートフォリオ1冊） ■口述試験 口述試験の時間、方法、注意事項は作品提出時に伝える。 ■作品等搬出 2月1日（日） 14:00～16:00		
作品、作品資料提出先 （試験会場連絡先）	首里当蔵キャンパス 美術棟1F（那覇市首里当蔵町1-4） 絵画学科室 TEL:098-882-5049		

▼彫刻専修

日程	1月31日(土)	2月1日(日)	
試験内容 試験時間	作品等提出 9:00～15:00 (任意の時間内に提出すること)	実技試験(素描又はドローイング) 9:00～12:00	面接 13:00～16:00
受験上の注意	■集合時間 2月1日(日) 8:30 ■作品等提出 提出作品の搬入・搬出について、運送業者を利用するなど特別処置を必要とする受験者は、事前に学科室に相談すること。 (1) 彫刻1点(1年以内に制作したものに限る。) (2) (1)の作品の制作意図(A4用紙にパソコンソフトで1,000字程度) (3) 作品写真集1冊(過去に制作した作品(在学中の課題作品も含む。)の写真をファイルしたもの。) ■実技試験 用紙は本学で用意する。画材用具等は自由。 ■作品搬出 各自の面接が終了次第、作品搬出 ■その他 試験が終了するまでは学外外出禁止のため、必ず弁当を持参すること。		
試験会場 連絡先	首里崎山キャンパス 彫刻棟2F(那覇市首里崎山町4-212-1) 彫刻学科室 TEL:098-882-5046		

▼比較芸術学専修

日程	1月8日(木)～1月14日(水)	1月31日(土)	
試験内容 試験時間	卒業論文提出 郵送(消印有効)	筆答試験(語学) 10:30～12:00	口述試験 13:30～15:30
受験上の注意	■卒業論文提出 卒業論文(コピー可)又は志願する研究分野(美学・芸術学、美術史、民族芸術文化学)に関する論文(美学、芸術学、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史、文化学、民族芸術学、琉球文学、日本文学等に関する論文を含む。)を提出する。 12,000字以上。提出された論文は返却しない。 *送付先:〒903-8602 那覇市首里当蔵町1-4 沖縄県立芸術大学 *提出方法:任意の封筒を使用し、表に「大学院比較芸術学専攻試験用提出論文」と朱書きの上、速達・書留にて提出すること。 ■集合時間 1月31日(土) 10:00 ※遅刻限度時間 11:00 ■筆答試験(語学) (1) 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、日本語小論文のうち1科目を選択すること。 (2) 外国人志願者は「日本語小論文」を選択すること。 (3) 「日本語小論文」は外国人志願者のみ選択可能。 (4) 社会人選抜の受験者は「筆答試験(語学)」を免除する。		
試験会場 連絡先	首里金城キャンパス 芸術文化研究所棟1Fロビー(那覇市首里金城町3-6) 芸術学学科室 TEL:098-882-5070/芸術文化研究所事務室 TEL:098-882-5040		

受験上の注意

- 1 試験当日の受験生は指定された場所に集合し、以後はすべて係員の指示に従うこと。
- 2 受験の際には常に受験票を携帯すること。万一、受験票を忘れたり紛失した場合は速やかに係員に申し出ること。
- 3 試験内容に関する電話、メール等による問い合わせには応じないが、緊急を要する連絡はこの限りではない。
- 4 学科室への電話が通じない場合は、教務学生課（Tel098-882-5080）に連絡すること。

VII 不正行為

- 1 提出論文等及び試験中に以下の不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

不正行為

- ・提出論文、作品等の全部又は一部を入学志願者本人以外の者に作成させた場合。
- ・提出論文、作品等において、生成AIの出力結果が使用されていると判断された場合。
- ・入学志願者本人以外の者（生成AIの利用を含む）による試験解答への関与。
- ・監督者の指示に従わない場合。
- ・本項記載事項の他、入学試験に関し各種要項で禁止されている事項に反した場合
- ・試験に関する内容についてオンライン等を含め、第三者が閲覧、視聴できるような状態にした場合。
- ・その他、円滑な試験実施を阻害するとみなされる一切の行為。

- 2 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、1と同様とする。

- ・許可された時間や場所以外で、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類やイヤホン、ヘッドセットをかばんなどにしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ・指定された持参用具以外の物の持ち込み・使用を発見した場合。

VIII 出願手続き

1. 出願期間

9月試験	令和7年7月28日（月）から同8月4日（月）まで ※消印有効
2月試験	令和7年12月8日（月）から同12月15日（月）まで ※消印有効 *比較芸術学専攻については、令和8年1月8日（木）～同1月14日（水）の間に卒業論文のみ提出すること ※消印有効

*出願はすべて郵送（速達・書留）によるものとする。（普通郵便及び直接持参は受理しない）

2. 出願方法

本入学試験はオンライン出願で行う。本学ウェブサイトからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。入学考査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

*出願手続きについては「オンライン出願サイト」の注意事項を参照のこと。

オンライン出願サイト(URL: <https://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)

入学考査料について

- ア 30,000円（納入方法はオンライン出願ページの指示に従い、9月試験は令和7年8月4日（月）までに、2月試験は令和7年12月15日（月）までに納付すること。クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能）。※領収書の提出は不要。
- イ 別途手数料がかかるため留意すること。
- ウ いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

3. 出願書類等

下記①から⑦までの書類（⑤から⑦までは対象者のみ）を郵送（速達・書留）すること。提出までが出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日の消印があるものに限り受理する。

* 入学志願票等の受理後はいかなる事情があっても書類の変更、考査料の払戻はしない。

書 類	記 入 要 領 等
① 入学志願票	ア 入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。 イ <u>外国人志願者の氏名について、「氏名（漢字）欄」は、旅券に記載の英字氏名で記入し、「氏名（カナ）欄」は、カタカナで記入すること。</u> ウ 住所は、本学からの通知等が確実に受け取れる郵便番号・住所を記入すること。入力時の住所でよい。 エ 「最終学歴欄」は、卒業（修了）年月日、学校名、所在地を記入すること。 オ 「学歴欄」は、以下のとおり出願資格により必要となる教育機関の学校名、所在地名、修業年限、入学年月日、卒業（修了）年月日を年月順に記入すること。 (ア) III出願資格 1 (1)、(2)、(7) 又は(8)に該当する志願者 高等学校以降の教育機関 (イ) III出願資格 1 (3)、(4)、(5)、(6)、(9) 又は(10)に該当する志願者 すべての教育機関（小学校以降） カ 入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。なお、写真は修正・加工をしないこと。<u>写真は入学後の学生証にも使用する。</u>
② 卒業証明書又は卒業見込証明書(大学又は最終学校)	出身大学長が証明したもの（原本）を提出すること。 （本学の卒業者及び卒業見込者は不要） ※独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者は学位授与証明書の写し、授与見込みの者については同機構による授与申請を受理した証明書（学位授与申請受理証明書）
③ 成績証明書	出身大学長が証明したもの（原本）を提出すること。 （本学の卒業者及び卒業見込者は不要）
④ 研究計画書	オンライン出願申請ページから研究計画書の様式をダウンロードし、必要事項を記入のうえ印刷すること。
⑤ 論文	※比較芸術学専攻2月試験受験者のみ提出 論文は任意の封筒を使用し、表に「大学院比較芸術学専攻試験用提出論文」と朱書きして、速達・書留にて提出すること。
⑥ 住民票抄本	県内居住者は入学料の額が軽減されるので、入学の日(4月1日)の1年以前から県内に住所を有することを証明する本人か配偶者、又は一親等親族の住民票抄本を必ず提出すること。 （X I 入学手続き3納付金（1）入学料及び納入期間参照）
⑦ 外国人志願者のみ	外国人志願者は上記①から⑥の書類に加えて下記の書類の提出が必要。 (1) ②及び③の日本語訳（志願者が訳し署名したものでも可） (2) 日本語能力試験(JLPT)でN2以上に合格していると証明できる書類又は令和7年12月7日実施の日本語能力試験の受験票の写し ※出願時から2年以内に本学学部生、研究生として在学し、当該書類を提出済みの場合は省略可。 (3) 学費・生活費の負担能力を証明する書類。 ・ 本人が支弁する場合 銀行の残高証明書、奨学金受給証明書など ・ 海外（本人の親族等）からの送金により支弁する場合 経費支弁者の銀行預金残高証明、経費支弁者の年間給与証明書、経費支弁者の銀行預金証書など

・本人以外の日本国内居住者が支弁する場合

経費支弁者の在職証明書・所得証明書（納税証明書もしくは源泉徴収票）、
経費支弁者の銀行預金残高証明

- (4) 旅券の写し又は在留カード（もしくは外国人登録証明書）の表裏両面の写しを提出すること。（出願時に未入国の者については受験時に旅券の写しを提出すること。）

4. 入学志願票等提出先

沖縄県立芸術大学教務学生課
〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町 1-4 TEL 098-882-5080

5. 受験票について

受験票は、出願書類受理後に「オンライン出願サイト」のマイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に持参すること。なお、マイページのURLは、入学査料支払完了のメールに記載される。

6. 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の利用目的について

出願及び入学手続きにあたって記入した氏名、住所その他個人情報は、以下の事項に付随する事務処理を行うために利用する。

- ① 入学試験実施（出願処理等）
- ② 可否通知、入学手続き書類の送付
- ③ 入試成績の情報提供
- ④ 学生の福利厚生に資する情報の提供
- ⑤ 学業および学生生活に関する管理、連絡および手続き
- ⑥ 大学の施設・設備の使用に関する管理、連絡および手続き
- ⑦ 本人および保証人への連絡、送付する各種書類の発送
- ⑧ 個人を特定しない統計処理

なお、不要となった情報の確実な破棄をはじめとし、提出された個人情報は個人情報保護法に則った万全の体制で管理する。

(2) 個人情報の第三者提供について

本学が取得した個人情報等は、以下のいずれかに該当する場合を除き、第三者へ提供、取扱いを委託することはない。

- ① 利用者の事前の承諾を得た場合
- ② 業務委託業者に対して、利用者に明示した利用目的の達成のために必要な範囲で個人情報等の取扱いを委託する場合
- ③ 法令の定めにより提供を求められた場合

(3) 情報主体の権利尊重について

本学は、個人情報等に関する情報主体の権利を尊重し、情報主体から事故情報の開示、訂正もしくは削除、又は利用もしくは提供の拒否を求められたときは、社会通念や慣行に照らし妥当な範囲でこれに応じる。

IX 入試説明会・事前相談

※入試説明会への参加の有無、事前相談の実施の有無は試験の可否に影響しない。

1. 入試説明会・専修別説明会（オンライン）

- 第1回 令和7年7月11日（金） 18:00 開始
 - 第2回 令和7年11月14日（金） 18:00 開始
- ※詳細は本学ウェブサイトで確認すること。

2. 事前相談

事前相談は、9月入試は7月25日（金）まで、2月入試は11月28日（金）までの平日に対応する。
事前相談を希望する場合は、以下の連絡先にメールにて問い合わせること。

専修	方法	連絡先
工芸専修	対面・オンライン	kougei@okigei.ac.jp
デザイン専修	オンライン	design@okigei.ac.jp
絵画専修	対面・オンライン	kaiga@okigei.ac.jp
彫刻専修	対面・オンライン	sculp@okigei.ac.jp
比較芸術学専修	対面・オンライン	geijutsu@okigei.ac.jp

X 合格発表

次の日程で本学ウェブサイトを受験番号を掲載する。合格者には発表と同時に文書で通知し、入学手続きについても指示する。電話、メール等での問い合わせには一切応じない。

9月試験	令和7年9月16日（火） 午前10:00 予定
2月試験	令和8年2月6日（金） 午前10:00 予定

※追加合格者の発表

入学手続き終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、3月2日（月）以降に「追加合格者の決定」を行い、本人に直接連絡（電話等）するので、3月2日（月）から3月6日（金）までの間、確実に連絡できるようにしておくこと。（連絡は大学から行い、受験者からの問い合わせには応じない。）

XI 入学手続き

1. 期 間

9月試験	令和7年9月17日（水）～9月24日（水） ※消印有効
2月試験	令和8年2月12日（木）～2月18日（水） ※消印有効

2. 手続きの方法

- (1) 合格者は、上記の入学手続き期間内に合格通知書とともに送付する入学手続きに必要な書類を教務学生課へ提出すること。
- (2) 長期にわたる教育課程の履修（長期履修）を希望する者は、上記の入学手続き期間中に所定の様式を提出すること。
- (3) 外国人志願者の日本入国の査証申請及び在留資格の取得手続きは、入学手続きとは別に、入学希望者が本人の責任で行うこと。

3. 納付金（予定額）の納入

(1) 入学料及び納入期間

県内居住者 282,000 円、その他の者 512,000 円

9月試験	令和7年9月17日（水）～9月24日（水）まで
2月試験	令和8年2月12日（木）～2月18日（水）まで

県内居住者とは、各号のいずれかに該当する者をいう。

- (1) 入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者
- (2) 入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者

* 入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用される。

* 入学料及び授業料の減免について

原則として大学の学業成績の平均が2.0（良）以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。

- 1 天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
- 2 生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）による保護を受けている者と同一世帯にある者
- 3 前項のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

(2) 授業料

前 期 分 267,900 円（年額 535,800 円）

納入期間 令和 8 年 4 月 30 日（木）まで

※ 納入期限が、土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。

4. 合格取消

令和 8 年 3 月 31 日（火）までに「Ⅲ出願資格」に掲げる要件を満たすことができない場合には、合格を取り消すものとする。

XII 過去の試験問題の公表

筆答試験、実技試験については、過去 3 年間の入学試験問題を本学ウェブサイトで公表している。

XIII 入試成績の情報提供

個人情報の保護に関する法律に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の情報提供依頼を請求することができる。

(1) 提供する内容

当該年度入試の個人成績を得点で提供する。

(2) 情報提供期間

9 月試験	令和 7 年 9 月 30 日（火）から令和 7 年 11 月 4 日（火）まで
2 月試験	令和 8 年 3 月 2 日（月）から令和 8 年 3 月 31 日（火）まで

※ 9 時から 17 時まで（土・日、祝日を除く）

(3) 提供を行う場所

沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス 事務局 教務学生課

(4) 提供の方法

本人部分のみ閲覧

(5) 提供依頼に必要な書類

受験票のほか、本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、健康保険被保険者証、旅券等）を持参すること。

(6) 提供依頼の方法

受験者本人が、口頭で本学教務学生課に申し出ること。

(7) その他

電話、メール等による問い合わせには応じない。また、県内離島あるいは県外在住者で来学が困難な者は、個人情報の保護に関する法律施行条例に基づく書面による開示請求も可能。請求方法については、本学のウェブサイトを参照すること。）

XIV 大学院案内

1. 大学院研究室担当一覧

専攻	専 修	研 究 室	担 当 教 員
生活造形専攻	工 芸	染 研 究 室	☆ 名 護 朝 和 教授 宇 良 京 子 准教授
		織 研 究 室	☆ 花 城 美弥子 教授 久保田 寛 子 准教授
		陶磁器研究室	☆ 山 田 聡 教授 島 袋 克 史 准教授
		漆工研究室	☆ 當 眞 茂 教授 松 崎 森 平 講師
	デザイン	視覚伝達デザイン研究室	☆ 仲 本 賢 教授 ☆ 赤 嶺 雅 教授 又 吉 浩 准教授 新 任 教 員
		生活環境デザイン研究室	☆ 宮 里 武 志 教授 ☆ 高 田 浩 樹 准教授 赤 塚 美穂子 講師
環境造形専攻	絵 画	油 画 研 究 室	☆ 高 崎 賀 朗 教授 阪 田 清 子 准教授 新 任 教 員
		日本画研究室	☆ 喜 多 祥 泰 准教授 関 谷 理 准教授 新 任 教 員
	彫 刻	彫刻研究室	☆ 砂 川 泰 彦 教授 ☆ 松 本 隆 教授 河 原 圭 佑 准教授 長 尾 恵 那 准教授
比較芸術学専攻	比較芸術学	美学・芸術学 研究室	☆ 喜屋武 盛 也 教授 土 屋 誠 一 教授
		美術史研究室	☆ 下 野 玲 子 教授 太田泉フロランス 講師 新 任 教 員
		民族芸術文化学 研究室	波 平 八 郎 教授 鈴 木 耕 太 准教授

☆印は、研究指導教員

2. 本研究科で取得できる免許状及び資格

(1) 教職課程（専修免許状）

デザイン・絵画・彫刻・比較芸術学各専修においては、中学校教諭専修免許状（美術）と高等学校教諭専修免許状（美術）を、工芸専修においては、中学校教諭専修免許状（美術）と高等学校教諭専修免許状（工芸）を取得することができる。ただし、それぞれ基礎となる一種免許状（美術・工芸）を取得済みであること。

(2) 博物館学課程（学芸員資格）

学芸員資格を取得するには、博物館学課程所定の単位を修得しなければならない。

3. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、2年間の修業年限では履修が困難な学生に対して、当該修業年限を超えて履修することができるよう履修期間を延長する制度で、造形芸術研究科における長期履修の修業年限は3年、在学年限は4年である。

授業料の総額は、2年間の授業料総額（535,800円×2年＝1,071,600円）と同額で、1年あたりの授業料は当該金額を3年間で分割した額（1,071,600円÷3年＝357,200円）となる。

対象者は、以下のとおりである。なお、出願前に事前申請が必要で、承認された場合のみ長期履修生となることができる。

- ①フルタイム、パートアルバイト含む有職者
- ②育児、介護を行う者
- ③その他やむを得ない事情を有し、修行年限での修了が困難な者

※①②のいずれも修学に支障を及ぼさない範囲の者は除外

4. 学生教育研究災害傷害保険等への加入

学生教育研究災害傷害保険（以下「学研災」という。）は、学生が①講義、実験・実習等への正課中、②学校行事中、③前記①、②以外で大学の施設にいる間、④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間、⑤通学中、⑥学校施設等相互間の移動中に不慮の事故により傷害を受けた場合に、保険金を支給する全国規模の補償制度である。

また、学研災付帯賠償責任保険（以下「付帯賠」という。）は、国内において、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する。

上記の保険は、保険期間中に応じた少額の掛金を一度納入することにより、当期間中の災害に対し、治療日数及び災害内容に応じた補償がなされるので、万一の事故に備え、本学学生は全員加入すること。

なお、加入手続は、オリエンテーションの際に行う。

学研災付帯学生生活総合保険は、「学研災」及び「付帯賠」の正課・学校行事中を補償する保険では不足すると思われる、24時間補償の保険である。

「学研災」や「付帯賠」とは異なり、保険の加入手続き等は引受保険会社と直接行うこととなる。（加入にあたっては、「学研災」や「付帯賠」に加入している学生に限り加入できる。）

※「学研災」及び「付帯賠」保険に係る掛金（保険料）と保険期間

	掛金（保険料）合計金額（2年間分）	保険期間
学生教育研究災害傷害保険	1,750 円	2 年
学研災付帯賠償責任保険	680 円	

（注）この保険に関する照会は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に行うこと。

研究計画書

※その他の出願書類に同封して郵送すること。

氏 名			
出身大学	大学	学部	学科（専攻）
大学以外 （数字を○で囲む。）	1. 学位授与機構	2. 専修学校の専門課程	3. その他
研究計画記入欄 *別紙の貼り付けや添付も可			

令和 年 月 日

提出^{作品}論文 貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科

志望専修・受験番号 氏 名	
出身大学学部名	
作 品 論 文 名	
制 作 年 月 日	

提出^{作品}論文 貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科

志望専修・受験番号 氏 名	
出身大学学部名	
作 品 論 文 名	
制 作 年 月 日	

提出^{作品}論文 貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科

志望専修・受験番号 氏 名	
出身大学学部名	
作 品 論 文 名	
制 作 年 月 日	

出願書類等一覧表

氏名	
----	--

以下の書類を順序どおりにクリップでとめ、一番上に本票を添付し、封筒に入れること。

順序		オンライン出願 チェック欄
1	入学志願票	☐
2	卒業証明書又は卒業見込証明書 ※本学の卒業者及び卒業見込者は不要 日本語以外の証明書の場合は日本語訳も提出 (志願者が訳し署名したものでも可)	☐ ☐
3	成績証明書 日本語以外の証明書の場合は日本語訳も提出 (志願者が訳し署名したものでも可)	☐ ☐
4	研究計画書	☐
5	(比較芸術学専攻 2 月試験受験者のみ) 論文	☐
6	(入学の日の 1 年以前から沖縄県内に住所を有する場合のみ) 住民票抄本	☐
7	(外国人のみ) 日本語能力を証明できる書類 日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する。	☐
8	(外国人のみ) 学費・生活費の負担能力を証明する書類	☐
9	(外国人のみ) 旅券の写し。在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出。	☐

アクセスマップ

沖縄県立芸術大学の位置 Location of the Okinawa Prefectural University of Arts

